

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りあん桂川教室（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的に保護者参加型の行事を行っている	・子どもと保護者、兄弟が触れ合えるような行事を考えている（運動会、ワークショップ、ボーリング大会、グランドゴルフ等）	・今後も行事を継続していき、次年度は参観日、懇談会を予定している。また、他にも行事を考えていく。
2	・子ども、保護者の支援を受けての満足度が高い	・常に児童ファーストの考えを持ち、子どもとのコミュニケーションを大切に、子どもが楽しめる活動の提供を心掛けている。	・今行っている支援を継続していきながら、職員の知識、技術向上を図り、子どもがより楽しんで通所できる事を考え実施していく。
3	・職員間のコミュニケーションが十分に取れ、同じ方向性を持ち、支援している。	・良好な人間関係が築け、小さな事でも情報を共有し、意見、アイデアを出し合って支援を行っている。	・今後も小さなことでも気付いたことは共有しよりよい療育が出来るよう、共通理解に努める。 ・職員の個人面談を行い、困り感を無くしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎の範囲を広げる事が出来ない為、受け入れる事が出来る児童のエリアが限られている。	・職員の人数は足りているが送迎車が少ない。	・車の台数が増える予定
2	・放課後児童クラブや児童館との交流がない。	・公園等、戸外へ行った際に地域の子どもと交流を取っているが保護者様へは伝わっていない。	・送迎時やHUGで保護者様へ交流がある事を認識していただく。
3	・ペアレントトレーニングの認知が少ない。	・送迎時や困り感がある保護者様には来所いただき、ペアレントトレーニングを行っているが、ペアレントトレーニングの理解がされていない。	・保護者様に、ペアレントトレーニングの内容や様子などの情報提供を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		りあん桂川教室（放デイ）		公表日		令和8年 4月 20日		
		保護者数	回収数	回収率	利用児童数 16名			
		16名	16名	100%				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				・人数が今くらいだと確保されている と思います	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	15	1			・机が小さいと言っている	・すぐに机とイスを変えて対応した
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	14	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	6	3	1	6	・項目の様に交流に機会があるとい います ・地域との交流があるか分からない	公園等へ行き地域の子ともと交流をして いる事を発信していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	9	4		3	・情報共有はしていますが、ペアレン トトレーニングかは分からない	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていますか。	15	1			・日々の送迎の際に、現状を教えて もらいそれについてどうしていくかを 一緒に考えてくれている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			・担当者会議はしているが、それが 該当するのであれば「はい」	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きよ うだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4			・苦手な保護者がいるのであまり参加 しない ・イベントでの他の保護者、兄弟との 交流が持てるのはありがたい ・保護者同士のお茶会などを入れて欲しい	次年度に保護者懇談会を予定	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			・不安なことがあるときは、相談し安心して通えている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			・毎日楽しみにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・いつもありがとうございます ・とても満足しています、色々な経験が出来ありがとうございます

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	りあん桂川教室（放デイ）		職員数	4名	提出数	4名	提出率	100%	公表日	令和8年 4月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		スペースは確保できている					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		適切な人数である					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		室内では段差が無く動線を作り過ごしやすくなっている					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日、掃除、消毒を行っている					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用 することが認められる環境になっているか。	4		必要に応じて環境設定できるようにしている					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		午前中の時間や、帰りの送迎後に職員間で話し合いが出来ている					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の評価表を基に改善に努めている					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員の意見を尊重し、話し合い、改善に努めている					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		確保されている					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		適切に公表されている					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		更新時にアセスメントを取り、担当者会議の際に保護者や相談員に課題を聞きながら計画書を作成している					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画を作成する際には、職員間で意見を出し合い作成している					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画に沿った支援を行っている					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメント使用している					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		職員間で話し合いながら、支援に必要な項目を具体的に設定している					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で話し合い、様々な意見を取り入れ行っている					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しない様に話し合いながら工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動をメインに行うが、個々の成長に合わせて配慮している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		午前中の中に流れの確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		送迎後に職員間で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		利用時には毎回記録を取り、毎月の会議で話し合っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、保護者、相談員に報告し、担当者会議の際に話し合っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		複数組み合わせ支援している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		おやつの際には、50円で好きなおやつを選んだり次の日に繰り越したりと、自分分で決める事が出来るようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		関係機関と支援を行う体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時に様子を見回り、担当者会議を行い、トラブル等あった際には、相談員に連絡している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		就学前に、情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		卒業する児童がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて、助言をもらっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域に公園等利用し、交流を行っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡帳、LINEで共通理解に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		相談や助言を行い、研修の案内等お知らせしている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		担当者会議で話し合い作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		相談を受けた際には、助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		定期的に保護者と参加の行事を取り入れている	次年度より保護者懇談会実施予定
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった際には、真摯に対応し、解決に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		連絡帳やSNSで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		配慮し伝えている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域との交流に努めている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			対象児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		毎月の会議や、その時々で再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修を行い、適切な対応を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		対象児童なし		